

学ほうと努力します。将来こんなことがやりたい、だからそのためにこれを学ぶんだと、積極的に学ぶへと向かっていけるような強い動機を子どもの心に育ててあげないといけない。スポーツ選手には、子どもの頃から「五輪で金メダルをとる」などと具体的な将来像を描いていた人が多い。目標が定まっているとぶれずに頑張れる。しかし残念ながら偏差値や成績など数値重視の学校に、そういう動機づけをしてほしいと期



待しても難しい。学校でできない学びは当社が提供していると思います。具体的には来春、東京の品川に職業体験ができるスクールを開校する予定です。**eラーニングも内容新**  
**来春は新事業目白押し**  
子ども向けの職業体験型eラーニングが既にいくつかありましたが、御社の特色は、**吉田** 仕事内容をeラーニングで学び、インスタレーターや他の参加者と一緒に擬似体験もし

でもらう、デジタルとアナログの融合型です。eラーニングを教材に使うことで、擬似体験だけではわからない部分を補完したり、繰り返し学んで理解を深めていくことができます。我々は仕事をして対価を得ますが、対価はお金とは限りません。お客様の喜ぶ顔、ものを作る上での達成感、人から認められる満足感、それらも対価です。子どもたちには職業体験を通して、仕事の大切さ、おもしろさ、大変さ、自分がどんな対価を喜びと感じるのかなど様々な気づきを得ながら、夢や目標を見つけてほしい。漠然とでも見つかったら、生きることにモチベーションも変わるはずですよ。  
**吉田** スクールでは、リーダーシップ能力、コミュニケーション能力、マネーの投資や運用などの実学系、カルチャー系、おとな向けのプログラムなど、多様なコンテンツを提供します。小中学生向けのeラーニング学習コンテンツは当社の大きな売りですが、内容を一新し、全国の学校で使われている教科書63種273冊を完全網羅して、動画解説付きで配信します。教科書の70%を理解していれば、

Company Profile  
**株式会社イー・ラーニング研究所**  
設立/2002年9月  
〒564-0063  
大阪府吹田市江坂町1丁目23番地38号  
F&Mビル6F  
TEL: 06-6339-4177  
http://e-l.co.jp/

偏差値50台前半の学校に入れると言われているので、教科書をマスターするのは学力アップの鍵なのです。これも来春からの配信を予定しています。事業の拡大が飛躍的に進んでいますが、ライバルは、**吉田** 教育業界では特にありません。独自の方法でユーザー様が必要とするものを展開してきましたから。今後はプラットフォームの充実と拡大に全力を傾けていきますので、将来は、グループやラインのように、インターネット関連の独創的なサービスを提供する企業になりたい、目指したいと思っております。最後に、ご自身のモチベーションは何ですか。  
**吉田** 人の役に立つこと、喜んで頂くことが最大のモチベーションです。スクールで職業体験したら人生が変わった」と言っているような機会と場の提供に力を尽くして参ります。

# 夢を見つけて学びのモチベーションに。子ども向け職業体験型スクールで教育界に新風を

イー・ラーニング研究所はBtoCのeラーニングサービスを提供し、急成長を遂げてきた。子どもの未来を支えるために、教育界に革新の波を起こしたいという志をもつ吉田智雄社長に次なるビジョンと新規事業を聞いた。

## 吉田智雄 イー・ラーニング研究所

よしだともむ 1963年、大阪生まれ。大阪商業大学経済学部を卒業後、トヨタカローラ南海株式会社に入社。94年、情報通信関連の代理店として独立。97年、ディプロマデータサービス株式会社設立。2002年に株式会社イー・ラーニング研究所を設立し、オンライン型eラーニング「フォルクスクラブ」の配信と教育情報特化型ポータルサイトを展開・運営している。

だけ質の良い学びの機会を提供し、教育環境を改善していく。そして学ぶ楽しさを実感してもらい、結果につなげてもらうこと。これらを当社の使命と受け止めて取り組んできました。  
— その一つの方法がオンライン型のeラーニングを安価で提供するところだったわけですね。  
**吉田** はい。eラーニングは、IT端末があればいつでもどこでも繰り返し学ぶことができるので、学習効果が上がります。点が大きな長所です。さらに当社のコンテンツはどこよりも優れたものだと思っており、「志望校に合格した」成績が上が

った」という声を多数頂いています。そういう成果には満足していますが、新たな課題も見えてきました。  
**学びはあくまで手段である**  
— 新たな課題とは。  
**吉田** 勉強は、将来の夢や目標の実現に必要な知識、知恵、技術を身に付けるためにするものです。しかしそれを説明できる先生や親が少ないから、子どもも勉強をやらされているとしか感じない。それが課題です。明確な夢や目標があれば、人はそれを実現するために一生懸命に

# Prime Time

Primeタイム 経営者は語る

— まず教育についてのお考えをお聞かせください。  
**吉田** 教育というのは、人が生きていくための知恵と力をつけるものです。福沢諭吉氏は著書「西洋事情」で、「一人は生まれながらに平等だが、そのうちに貧富、身分などの違いが生まれる。その違いは学問をしているかどうかだ」と述べています。教育によって人生は豊かにもなるし、味気ないものになる可能性もあります。私がここまで来られたのも、母から学ぶことの

大切さを教わったおかげです。教育が人生を切り拓いてくれました。—  
— そういう重要なものにも関わらず、日本では政権や行政のトップが変わると教育の方法もプログラムも一変する。教育に哲学がないのです。近年は経済的な理由で進学を断念せざるを得なかったり、勉強する意味を見出せずに学校から脱落していく子どもが増えています。そういう中で一民間人として何ができるかといえば、子どもにもできる

### イー・ラーニング研究所の社会貢献活動

唯一イー・ラーニング研究所では、児童の教育格差を是正するため、児童施設を対象として、フォルクス学習環境向けのパソコンを無償提供してきた。下記はその実績。

- 2008年 8月 大阪:児童養護施設「女子慈教寮」
- 2008年 9月 大阪:児童養護施設「南河学園」
- 2008年 11月 大阪:「岸和田学園」
- 2008年 11月 沖縄:児童養護施設「Ohana」
- 2009年 2月 高知:四万十市の児童養護施設「若草園」
- 2009年 3月 静岡:袋井市「まさばの家」
- 2010年 11月 長野:児童養護施設「恵愛学園」
- 2011年 1月 岐阜:高山市「であい塾」
- 2012年 7月 京都:日常生活自立支援事業「りんごの広場」
- 2013年 6月 宮城:社団法人川町「ワークリンク女川」
- 2014年 7月 沖縄:南城市「久高小中学校」にFORCE Tab無償提供



写真は、沖縄県南城市久高島の久高小中学校での贈呈風景。